

# われもこつ 第14号

2002年12月11日発行



## われもこつの会も 満5才になりました!



今回は特集としてわれもこつの会に対する雑感や夢や希望  
を語ってもらいました。



新幹線工事で出来た空地に、軽井沢にあった野の花を復元したい  
と思ったのは、もう5年前。

かれんに見える野の花にも、たくましい自然の力が隠れていまし  
た。 静かに見える人々にも、大きなエネルギーがありました。



「ごあいさつ」

軽井沢町長 佐藤 雅義

このたび、「われもこうの会」

満五歳の誕生日に当たり一言お祝いと御礼のごあいさつを致します。

軽井沢町内に野の花を増やしたいとの考えは私の夢の一つと同じであり、会員皆様の地道な努力と行動に大いなる敬意と感謝を申し上げます。

春のオキナグサ、秋のマツムシソウ等は昔ではどこにでもある野花でしたが昨今では自生のもはあまり見られなくなり、寂しい思いをしておりますが、会員皆様のおかげで町内でも目にすることが多くなり嬉しく思っております。どうか、これからも「われもこうの会」の活動に自負を持っていただき、この会が十年二十年と活動を続け、町内が野の花でいっぱいになっていくことを願っております。



「われもこうの会」の

大きな業績

町植物園園長 佐藤邦雄

新幹線工事によって出来た砂礫地、荒れたどうしようもない空地が「われもこうの会」の皆様のご苦勞、お骨折りによって開墾され、見違えるような立派な畑になりました。野草の種を蒔き、その苗が植えられ、美しい花園が出来ました。ここに美しい花がいちめんに咲き乱れました。有り難うございました。今後もう活躍をお願いします。

変わってしまった塩沢湖の冬

藤巻 進

私の会社が管理する塩沢湖は昭和三十年代に村の人々によって造られた人造湖です。当時は十二月には氷結し、氷は厚さ三十センチに達したのですが、現在は天然氷でのスケートは昔話になりました。百年単位であっても速すぎる気候の変動が、わずかに四半世紀の間に起こっているのです。暑さ寒さに耐え忍ぶ力を持つ人間はよいとしても、変化に適應できない動物は死に絶えていくしかありません。

日常の変化にうとい私達ではあります。が、そとと道端の草花に目をやり思う時、かけがえのない私達の地球を大切にしたい、そんな気持ちにさせられます。



◆種が実り順調に増えていく花がある一方で、散歩の途中で見かける花がどんどん減っていくのが悲しいです。皆で自生地を訪ね、消える運命にある花を移植して助ける事は出来ないでしょうか。(Y・K)

◆空き地がいい感じの原っぱになりましたね。緑(雑草ともいう)のなかに咲くマツムシソウ、オミナエシ、トラノオ……。土もずいぶん柔らかくなりました。野の花も増えミミズがいたりハナバチが来たと言んだり、楽しく作業に参加させていただいています。(Y・Y)

◆一番楽しかった思い出は、子供も一緒に草取りして草が山のようになった事と、お手伝いして得た「われも」で大好きな「おらが製菓」で買い物した事。もっと参加したいのに、住まいが東京なのでなかなか参加できないのが残念です。やりたい夢は、植物を見るハイキングなど。あと花を増やして会員以外の方にも苗や株を分ける事です。(K・Y)

◆アサマキスゲがようやく三年目に、黄色い花をつけました。とってもうれしかったです。咲いたら、アサマキスゲパーティーをやるうという話がありましたけ

## 会員の声

ど、どうなったのかな? あと、花の名札をきちんと立てたい。原っぱに、あすまやが欲しい。町の施設に苗を分けて上げられるようにしたい。(H・I)

◆「われもこの会」に入会し、いろんな植物との出会いがあり、植物園に勤めるというきっかけにもなりました。佐藤園長のご指導のもと毎日勉強の日々を過ごしています。(K)

◆今までも、花の名前の名札はついていただけ、花の名前がわかりにくかったかな。ポストみたいなものを作って、その中に花の絵や写真と名前が書いてあるものを入れておいてはどうかしら。(S・K)

◆カンカン照りの日の作業はつらいですよ。各原っぱにあすまやと水道が欲しい! それと、軽井沢で活動しているいろんな環境ボランティア団体のお世話をしてくれる事務局っていうか、センターみたいな所があって、そこではおとなも子供も環境問題について学んだり、活動に参加したりもできるっていうのが夢です。(Y・U)

お便りありがとうございました。全部載せられなくてごめんなさい。

## われもこうの会の原っぱに



乾燥していて、日当たりの良い「前沢の原っぱ」や「市村の原っぱ」には、軽井沢の草原にかつてあった

植物を植えつけていきたいと思えます。

(軽井沢の生態系を守るために

園芸種・帰化植物は、原則として、

植えつけないことにしています。)

軽井沢出身のつぎのような草の種や、苗をお持ちの方は、「われもこうの会」

にくださいませんか？

私たちの手で「原っぱ」に植えて

増やします。



## これから植えつきたい草花

ホトケノザ・イヌナズナ・スミレ・タチツボスミレ

キジムシロ・ノハナショウブ・ウツボグサ

ツリガネニンジン・アカバナシモツケソウ

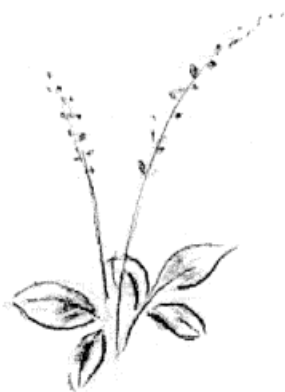
ノコンギク・コオニユリ

ヤクシソウ・クガイソウ

アキノキリンソウ

ハバヤマボクチ・ lindow

ヨメナ・ミスヒキ などなど



また、ご自宅で育ててみたい方、  
ぜひ、「われもこうの会」にご連絡ください。

# 野の花の名前のいわれ

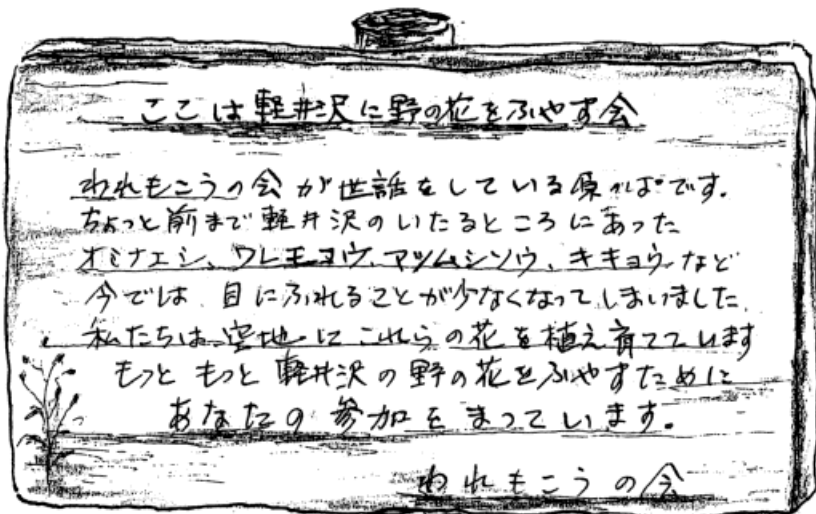


ユウガギク (柚香菊)

7月～10月 キク科

「柚の香りの菊」と言います。  
若い葉を指先でもんでみると、ユズの香りがすると伝えられます。野の菊としては美しく“優雅菊”の字をあててもぴったりの花でしょう。

手入れをしている原っぱに、素敵な看板ができました。  
ぜひ、みなさんも市村・前沢の両原っぱを時々ぞいて見て、  
見守ってください。



2002/1028 T. Kurih



軽井沢の自然を守る事は日本国民の責務

## 一本の道をつけるにも細心の注意を

(東京大学 故原寛 教授)

自分達の町の特徴を知らないで、自分達の町の価値について考える事は出来ません。長い間、軽井沢を愛しつづけた、東京大学 故原寛教授の共書の中から、軽井沢の植物について書かれたものを再録します。



しか産しない学問上きわめて貴重な植物も絶滅に瀕している。

(中略)

自然は一度破壊すれば、真の意味では復元は不可能なのである。日本中部のこの特殊な自然環境を持つ軽井沢を何時までも世界的に愛される土地として保護する事は日本国民の責務であると考える。軽井沢の施政にあたる方々は一本の道をつけるにも細心の注意と長い将来への見通しを持って企画し、少なくともこれ以上自然の破壊が進まぬように特別な保護を行なうよう積極的に配慮をしていただきたい。

「(前略)しかし最近宅地造成とゴルフ場の新設が急速に進み、本州中部では稀に見るこの美しい自然も無残に破壊されつつある。5月には軽井沢駅近くの原野を紅紅に染めたサクラソウの大群落も、盛夏にススキの葉

陰に咲き乱れたキキョウの花も、今では一本を見出す

事さえ難しいありさまである。本州では軽井沢にだけ

すでに手後れの感はあるが、本書が軽井沢の自然保護の基礎資料として少しでも役立つ事を願っている。

(後略)

『軽井沢の植物』まえがきより 一九七四年刊)

# われもこうの会のホームページ

われもこうの会では今年初めよりホームページができました。  
作業の様子などを随時更新しています。

また、会の活動の日時などもお知らせしていくつもりです。  
どうぞのそいでください。

Welcome our homepage

<http://www.h5.dion.ne.jp/~waremoko/>



\* 2月2日(日)の総会(8ページを見てください)で、お見せする  
予定です。



## われもこう

「われもこうの会」は、軽井沢の野草を愛する人の集まりで、活動は今年で5年目。新幹線工事後に残さ  
き地で、野の花を育てるボランティア活動をしています。  
音から見かけた花が、これからもずっと咲き続けて欲しい、という熱き思いで!



活動の趣旨

2002年度  
作業予定

軽井沢の  
貴重植物

この本  
おすすめ



メール

Last updated: 11/20/

## われもこうの会 作業日誌 2002

4月21日 日曜日 雨

今シーズン一回目の作業日は朝から雨が降り出して、午後はずっとひどくなるかもと、午前中に変更。  
急な運搬にもかかわらず、12人が「前沢の原つば」に集合しました。  
枯れ草を片付けたり、道端に芽吹いたマツムシソウの苗を移したり、雨の中、ごくろうさまでした!  
今日、咲いていた花はスイセン、イカリソウ、スミレなど。(Y)

5月8日 水曜日 晴れ

われもこうの会

## 総会のお知らせ

日時：2003年2月2日（日）

午後1:30～2:50

場所：軽井沢町中央公民館

講義室

タネの収穫もすんで、2002年度の野の花シーズン無事終了！

最後に今年度締めくくりの総会を行います。一番寒い時期になってしまいましたが、会員の皆さん、親睦会をかねてぜひご参加下さい。

総会終了後、スライド上映会を開催します。

軽井沢に今も生き残る貴重な植物の映像です。

題して『里山の風景

（会員には後日詳細を連絡致します）

—野の花を たすねて—(仮)』

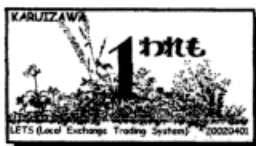
会員以外の方の参加もお待ちしております。

ご家族やお友達をお誘い下さい。

日時：同日 午後3:00～4:30

講師：中村匡男氏

（星野リゾート ピッキオ）



### \*\*\*\*\* 地域通貨「われも」レポート \*\*\*\*\*

最近、県内でも活発化している地域通貨。「2002 ながの地域通貨ガイド」（長野県NPOセンター発行）には15の地域通貨が紹介されてました。もちろん私たちの「われも」もです。

でも“野の花を増やす会”が中心になって取り組んでいる地域通貨って全国でも珍しいのではないのでしょうか。今のところ、「われもこうの会」と「中軽井沢を考える女性の集い」の2団体で活用しているだけなので広がりにはイマイチといえますが……。あわてず、あせらず、町に定着させていきましょうね。

ところで、今シーズンの作業日に発行した「われも」券は166われもでした。参加者がのべ166時間、原っぱや畑で働いたという記録にもなりました。

発行/われもこうの会 事務局TEL.& FAX. /0267-46-2505